

日・ウクライナ経済復興推進フォーラム メタルプロダクツが案件協力文書を交換

日、東京都内のホテルで開かれた。両国の企業同士によるビジネス案件協力文書交換式があり、鉄鋼関連では鉄骨二次部材加工のメタルプロダクツ（本社・山形県真室川市）やコベルコ建機、東京製綱などが出席した。

ロシア侵攻で荒れ果てたウクライナの復興を目指し、日本とウクライナの官民連携を協議する「日・ウクライナ経済復興推進フォーラム」が4

フォーラムは強靱（きょうじん）な経済復興に向けた官民での連携の可能性について意見交換するため、経済産業省と日本貿易振興機構（ジェトロ）、ウクライナ経済省が主催。日ウの関係者約300人が参加した。

メタプロは今年2



会場で提携文書を手にする渡邊社長（右）とオレグ社長

月、国際協力機構（JICA）の復興支援事業の一環で、モジュール（部屋単位）住宅製造のMODULEX（モジュールックス、オレグ・ミロシュニチェンコ社長）と業務提携契約を調印済み。この日は渡邊進社長とオレグ社長が交換式に臨み、壇上で改めて文書を交わした。

今後は仮設住宅などに用いる鉄骨部材の加工技術などを提供し、ウクライナのインフラ復興に協力する。9月には現地を訪問する渡邊社長は「日本の鉄骨技術を通じてウクライナの復興支援を後押ししたい」と語った。

フォーラムにはゼレンスキー大統領のオレナ夫人ら要人も出席した。

